

特定非営利活動法人 **RDA Japan**  
2015年度の事業報告・2016年度の事業計画

**【 総会資料 】**

総会日時：2016年5月22日（日）13時～15時  
総会会場：ルノアール貸会議室プラザ八重洲北口店  
東京都中央区八重洲1-7-4 矢満登ビル3階

RDA Japan事務局所在地  
東京都町田市真光寺町 302 番地 25  
電話 080-6519-7818  
Eメール rda@rdajapan.com

## 謝意

日頃より RDA Japan の障がい者乗馬活動にご支援、ご理解を賜り誠にありがとうございます。本年もこの様に定例総会を開催できます事を心より感謝申し上げます。

2016 年度は 2015 年度の実績を踏まえ、更に歩みを進める事の出来た一年ではなかったかと思えます。活動団体も新たに秋田県のポニーランド花立と山口県の NPO 法人きらりが準ユニットとなり、20 団体となりました。そして B 級インストラクターも 1 名誕生し、人材の裾野を広げる事ができました。

昨年は 6 月に台湾におきまして HETI (Horse in Education and Therapy International) の国際会議が開催され、RDAJ も参加をして参りました。その折に、HETI の前会長と事務局長とインストラクター制度について協議をする機会があり、1 月の会報でもお知らせいたしましたが RDAJ と HETI の資格制度を相互互惠の形で発展させてゆく事となった事は特筆すべき実績であったと思っております。

本年は 9 月にリオパラリンピックが開催され、日本からは個人枠で 1 名リオ出場が確定をしております。2020 年は東京においてパラリンピックの開催もあり、今回のリオはその前哨戦の様な機運も感じ、パラ馬術を通して障がい者乗馬という言葉が更に世間に浸透していくのではないかと思います。ただ、障がい者乗馬と一言で申しましても、その内容は実に広い分野でもあります。ヒポセラピーであれ、セピューティックライディングであれ、スポーツ・レクリエーションであれ、その根幹の目的は乗り手さんの為の活動であるという事変わらないのではないのでしょうか。昨年より JTRA・JRAD・ハーモニセンターと共に推進している〈ゆるやかネット〉の横の連帯も一層強くしながら、日本における障がい者乗馬の輪を広げていきたいと思えます。

私たち RDA Japan の使命は安全で楽しい乗馬の提供による乗り手さんの QOL の向上です。その為の日々の活動である事を忘れず、この一年もより多くの方に講習会やセミナーを通し安全で楽しいセラピューティックライディングの知識や技術を普及してまいる所存です。

2016 年度も変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

### 【設立よりご寄付をいただいた企業、団体様名】

株式会社 エヌケイケイ カバロ東京 株式会社 カンバセッション アンド カムパニー 北澤商事 有限会社  
株式会社 クリニコ グレートブリテンササカワ ゴールドマンサックス証券 株式会社 財団法人 笹川スポーツ財団 ジューシーアール 株式会社 乗馬ライフ (オーシャンライフ株式会社) 財団法人 損保ジャパン記念財団 (旧安田火災記念財団) 大日本住友製薬 株式会社 東京大崎ロータリークラブ  
社団法人 東京倶楽部 社団法人 東京青年会議所 東京都共同募金会 東京マリーンロータリークラブ  
凸版印刷 株式会社 財団法人 日韓文化交流基金 日本ケミカルリサーチセンター 株式会社  
日本馬主協会連合会 日本エンタープライズ株式会社独立行政法人 日本スポーツ振興センター  
日本郵政公社 ハートランド牧場 株式会社 ハウフルズ バキュームモールド工業 株式会社 バキュームモールド販売株式会社  
有限会社 ピアアップェ 東関東ホースパーク 独立行政法人 福祉医療機構  
株式会社 不動産投資研究所 メリアルジャパン 株式会社 モルガンスタンレー証券 株式会社  
財団法人 ヨネックススポーツ振興財団 リーバイストラウスジャパン 財団法人 日本社会福祉弘済会  
株式会社 リズメディア 株式会社エヌエーシー 株式会社芝信用金庫  
(五十音順、敬称略、個人名は省いております)

## 【目次】

■ 次 第	2
■ 2015年度の役員名簿	3
■ 2015年度 事業報告に関する件	4 - 7
年度総括	4
総会、理事会の開催状況	5
2015年度事業報告一覧	7
■ 2015年度 会計および監査報告に関する件	8 - 11
2015年度 収支決算書	8
2015年度 貸借対照表	9
2015年度 財産目録	9
監査報告書	10
■ 2016年度の役員	11
■ 2016年度 事業計画に関する件	12 - 14
2016年度の基本方針（案）	12
2016年度事業計画（案）	13 - 14
■ 2016年度 予算計画に関する件	15
2016年度 収支予算書（案）	15

## ■次 第

1. 開 会
2. 総会成立要件の確認
3. 理事長挨拶
4. 議長、書記及び議事録署名人の選出
5. 議題審議
  - (1) 第 1 号議案 2015 年度 事業報告に関する件
  - (2) 第 2 号議案 2015 年度 会計および監査報告に関する件
  - (3) 第 3 号議案 役員の変更に関する件
  - (4) 第 4 号議案 2016 年度事業計画に関する件
  - (5) 第 5 号議案 2016 年度予算計画に関する件
  - (6) 第 6 号議案 その他
6. 閉会挨拶
7. 閉会

■ 2015年度の役員名簿

理事長	中田 順寿
副理事長	土谷 麻紀 長洞 尚美
理事	上田 千恵、 後藤 浩二郎、 玉井 香織、 塚田 昭雄、 月川 大樹、 富永 淳子、 正清 久美子、 中田 希衣
◇ 事業部 部長	中田 順寿
人材育成担当	土谷 麻紀、 委員：後藤 浩二郎、 塚田 昭雄、 正清 久美子
普及ユニット担当	富永 淳子、 委員：月川 大樹、 上田 千恵
人材派遣担当	中田 希衣
馬事担当	月川 大樹、 富永淳子
医事担当	玉井 香織
広報担当	上田 千恵
◇ 渉外部	中田 希衣
◇ 事務・会計	中田 希衣
監事	佐野 一夫

(理事 11名 監事 1名)

外部評価委員	滝坂 信一 三木 則夫 渡辺 廣人 局 博一 梅田 康弘 田原口 智士 富沢 健悟 山田 淑之 渡部 英雄
--------	---

(第1号議案)

# 2015年度 事業報告書

2015年 4月 1日 ～ 2016年 3月 31日

特定非営利活動法人 RDA Japan

## 1 事業の成果

2015年度は前年度の活動実績を基に更に歩みを進ませる事の出来た一年であったと思います。

普及啓発事業につきましては、登録活動団体も増えた事により、ユニットメーリングリストの活用やブロック体制の充実も図られ、特に西日本において夏と冬に講習会を開催できた事は大変に喜ばしい事でありました。会報は発行月を従前の7月からの3か月ごとに戻しましたが、内容も充実し、各団体の活動の様子や乗り手さんや乗り手さんのご家族の思いなどをご紹介することで、紙面を通し心の交流ができたのではないかと思います。HPをはじめ、FacebookのようなSNSの活用で、RDA Jやユニットの活動もリアルタイムで発信し共有することができてきました。人材交流は神奈川県RDAたまの乗馬大会、9月と11月に行われた山口県パカポコ山口の乗馬会をはじめ、ユニット認定希望団体のヘルパー講習会に講師派遣をいたしました。

また、今年度は動物介在教育・療法学会より講演依頼があり、「私たちの活動と障害者乗馬インストラクター養成の取り組み」の演題で発表をさせていただく機会があり、多くの方にRDA活動と日本で初めてインストラクター制度を確立し多くの人材を輩出してきた実績を知って頂く事ができたと思っております。2月には日本治療的乗馬協会・全国障害者乗馬協会・ハーモニセンター・RDA Japan がゆるやかネットワークとして共催している治療的乗馬研究集会在開催され、RDA JからもRDAたまと恵光園より発表をさせて頂きました。そして今回は乗り手さんのご家族の視点で見た障がい者乗馬の現場という内容でパネルディスカッションがあり、会場は大きな熱気につつまれ大変手ごたえのある研究集会でありました。

ガイドブックとりボンマグネットは2015年度より販売を再開しましたが、ガイドブックのリニューアルが今年度内に完成に至らず、2016年度の事業として引き続き取り組んで参ります。

年度末の恒例行事である写真コンテストは今年も沢山の作品が寄せられ、生き生きとした活動の様子が伝わってくる力作が年々増えているように感じます。ボランティア表彰・馬表彰も今年は3名のボランティアさんと1頭の馬が表彰されました。

人材育成事業につきましては、2015年度は講習会は山口県、神奈川県、福岡県において開催をいたしました。また、講習会の運営もこれまでの事務局主導から、ブロックにおいて予算組をし運営にあたるという試みをする事によって、情報共有はじめRDAJとしての連帯感も生まれたと思っております。

また、インストラクターの裁量による認定ヘルパー制度・アシストインストラクター制度が布かれ、次のインストラクターを目指すより強固な人材育成の仕組みができたと思っております。

また、今年度特筆すべき実績は、昨年夏、台湾で開催されたHETIの世界大会の時よりHETIの教育委員会と協議してきたRDAJインストラクター資格認定制度とHETIのレベル1インストラクターの資格制度をリンクさせ、RDAJのインストラクター資格は自動的にHETIのレベル1インストラクター資格が授与されるという仕組みができた事です。そして、RDAJのA級インストラクターの中でも、ある一定の条件をクリアする者はHETIのレベル1インストラクター養成セミナーの講師の資格が付与されるという事となりました。今後インストラクターの中から国内はじめ海外において活躍する人材が出る事を願ってやみません。

以上が事業報告となりますが、2015年度も充実の一年とする事ができたと思っております。大変にありがとうございました。

## 【理事会・総会の開催状況】

### ◆総会

日時：2015年5月10日（日）午後1時から

場所：ルノアール貸会議室プラザ八重洲北口店（東京都中央区八重洲1-7-4 矢満登ビル3F）

出席数：119名（内、委任状提出105名/議決権を有する会員数119名）

議長：中田 希衣 書記：川村 真美 議事録署名人 玉井 香織、後藤浩二郎

審議事項：

1. 2014年度事業報告に関する件
2. 2014年度会計報告及び監査報告に関する件
3. 役員の変更に関する件
4. 2015年度事業計画に関する件
5. 2015年度予算計画に関する件

審議結果：全審議事項について満場一致で可決されました。

### ◇2015年度 第1回理事会

日時：2015年5月10日（日）午後2時から

場所：ルノアール貸会議室プラザ八重洲北口店（東京都中央区八重洲1-7-4 矢満登ビル3F）

出席理事：中田 順寿、土谷 麻紀、長洞 尚美、富永 淳子、中田 希衣、正清 久美子、

玉井 香織、上田 千恵、後藤 浩二郎

委任状：2通（塚田 昭雄、月川 大樹）

審議事項：

1. 2015年度事業の役割分担について
2. 事業計画について
3. ヘルパー・アシストインストラクター認定登録について
4. 活動団体規程（ユニット規程）改訂にともなう変更事項について
5. A級インストラクターの認定・更新について

※すべての理事会は、理事出席数及び委任状から議事成立の条件を満たし開催しています。

### ◆2015年度 第2回理事会

日時：2015年9月27日（月）午後1時から

場所：岡山県生涯学習センター（三学ぱる岡山）ボランティア室（岡山県岡山市北区伊島町3丁目1-1）

出席理事：中田 順寿、後藤 浩二郎、玉井 香織、塚田 昭雄、正清久美子、上田 千恵

委任状：5通（土谷 麻紀、長洞 尚美、富永 淳子、中田 希衣、月川 大樹）

審議事項：

1. 西日本講習会報告について
2. 今後の講習会の計画とフローについて
3. ヘルパー・アシストインストラクター認定制度の運用について
4. その他

### ◇2015年度 第3回理事会

日時：2016年3月7日（月）午後1時から

場所：ルノアール貸会議室プラザ八重洲北口店（東京都中央区八重洲1-7-4 矢満登ビル3F）

出席理事：中田 順寿、土谷 麻紀、長洞 尚美、後藤 浩二郎、玉井 香織、正清 久美子

上田 千恵、富永 淳子、中田 希衣

委任状：2通（塚田 昭雄、月川 大樹）

審議事項：

1. 次年度役員について
2. A級インストラクター試験について
3. A・B級インストラクター更新について
4. インストラクター及び、会員の方のRDAの事業へ積極的に参加することについて
5. 写真コンテストについて
6. ボランティア・馬表彰について
7. 認定アシストインストラクター・認定ヘルパー・サブインストラクターについて
8. 人材育成と講習会企画担当について
9. インストラクター試験①②の変更について

### ◆メーリングリスト

理事会を補足する為に、全ての役員（理事10名、監事1名）のメールアドレスを登録した理事のメーリングリストにて、意見や情報交換をして参りました。

※監事は、理事会への発言権はありません。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 普及・啓発事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額
会報発行	RDA Japan 活動の広い周知と理解を求めること、各地域組織の情報交換を目的として年4回発行。	2015年 7月 10月 2016年 1月 4月	事務局	2名	RDAJ 活動支援者・団体・その他 会報希望者 多数	77,543円
RDA 活動のためのガイドブックの配布	2005年8月に加筆訂正し、日本 ためのガイドブックの制作したガイドブックを配布。	通年	事務局	1名	RDAJ 会員・RDA 活動に興味のある方 59冊	5,573円
ハンドブックの作成	RDA 活動・障害がい者乗馬に興味がある方、既に活動をされている方にわかり易く解説した携帯サイズのハンドブックの制作。	通年		10名	RDAJ 会員・RDA 活動に興味のある方 多数	
リボンマグネットの配布	東京大崎ロータリークラブ様が 2006年度に RDA Japan の為に制作して下さったリボンマグネットを 46部配布。	通年	事務局	1名	多数 46部	1,690円
HP の充実と有効活用	HP に加え Facebook も開設しリンクすることで RDAJ を広く周知。	通年	事務局	2名	RDAJ の活動に関心がある人 多数	
障害がい者乗馬を行いたい団体・個人等への人材交流	RDA たま乗馬大会 2015.4.26 パカポコ山口乗馬会 2015.9.26 " 2015.11.22		RDA たま パカポコ山口	2名	RDA 活動に興味がある人・かかわっている人・アシストインストラクター 多数	25,597円
RDA Japan 写真コンテスト	障害がい者乗馬の活動現場において、その日々の活動や競技会、J イベントなどで記録した写真 16 点の応募があり、2014 年度も第 9 回 RDA Japan 写真コンテストを開催した。 【RDAJ 賞】 正清 久美子様 (恵光園) 【審査員特別賞】 津田 和呂様 (RDA たま) 【入賞】 更家 加将様 (パカポコ山口) 林 英子様 (パカポコ山口) ホースセラピー馬んまる氏 (ホースセラピー馬んまる)	2016年3月	事務局	5名	障害がい者乗馬活動に参加した方々 多数	10,656円
ボランティア・馬表彰	RDA の理念に則り活動しているユニット・準ユニットを支え、貢献してきたボランティアと馬を RDAJ が表彰。 【ボランティア表彰】 池田 茂様 (RDA たま) 品川 あけみ (ホースセラピー馬んまる) 成富 杏奈 (チャレンジドホーススクール) 【馬表彰】 友 号 17 歳 (RDA たま推薦)	2016年3月	事務局	3名	日本国内で障害がい者乗馬に関わる人・馬 多数	



ユニット認定	新規にユニットに加入を希望する団体の活動状況を審査し、ユニット認定を行う他、認定期間3年を経過した団体の継続手続きを行った。 【新規：5団体】 岡山乗馬倶楽部（岡山・準U） 馬っこばーくいわて（岩手・準U） NPO法人きらり（山口・準U） ポニーランド花立（秋田・準U） 伊良湖ホースライディングクラブ（愛知 BU） 【継続：3団体】 社会福祉法人恵光園（福岡・BU） チャレンジドホースサークル（福岡・U） ホースセラピーサークル馬んまる（岡山・U）	通年	岡山県 岩手県 山口県 秋田県 岩手県 福岡県 岡山県	5名	ユニット加入希望団体 多数	164,388円
シンポジウム	JTRA・JRAD・ハーモニーセンター・RDAJ 共催の治療的乗馬研究集会を開催。	2016年2月27日 28日	東京・代々木 青少年オリンピックセンター	10名	障がい者乗馬関係者及びRDA活動に興味のある方 多数	

(2) 人材育成事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
講習会	2015年度は山口で①②課目講習会を開催した。 神奈川で③課目講習会と及びヘルパー講習会を開催した。 福岡で④講習会を開催した。	2015年8月29日 30日 2015年11月7日 8日 2015年12月12日 13日	山口県立緑洋高等学校 中田動物病院 社会福祉法人恵光園	4名 3名 3名	講習会参加者 9名 講習会参加者 16名 講習会参加者 11名	329,236円
インストラクター資格試験	山口で①②課目試験を行った。 神奈川で④課目試験を行った。	2015年8月29日 30日 2015年11月8日	山口県立緑洋高等学校 中田動物病院	4名 3名	受験者 7名 受験者 2名	
インストラクター資格認定・更新手続き	2015年度は1名B級インストラクターの資格認定審査を行った		人材育成委員会	3名	認定申請者1名	

## (第2号議案)

## ■2015年度会計報告

科目	予算額	決算額	備考
I 収入の部			
1.会費収入			
正会員費	570,000	542,000	
賛助会員費	20,000	10,000	
2.寄附金収入			
寄附金収入	1,200,000	1,422,010	
物品による寄附			
3.補助金収入			
民間助成金収入	1,000,000	0	
4.事業収入			
(1)普及・啓発事業			
会報の発行	0	0	
ガイドブックの配布	10,000	62,000	
ガイドブックのリニューアル	200,000	0	
リボンマグネットの配布	50,000	13,000	
パンフレットのリニューアル	0	0	
RDAオリジナルグッズの作成と販売	100,000	0	
HPの充実と有効活用	0	0	
人材交流	0	0	
写真コンテスト	0	0	
ボランティア・馬表彰	0	0	
ユニット認定	45,000	9,000	
シンポジウム	50,000	5,000	
(2)人材育成事業			
講習会	150,000	361,500	
インストラクター資格試験	45,000	102,000	③課目試験
インストラクター資格認定・更新	96,000	33,000	インストラクター登録
5.雑収入			
雑収入	0	3,770	
受取利息	0	101	
当期収入合計(a)	3,536,000	2,563,381	
前期繰越金収入	1,575,086	1,575,086	
収入合計(b)	5,111,086	4,138,467	
II 支出の部			
1.運営支出			
会議費	50,000	87,310	
通信費	125,000	93,255	
交通費	250,000	285,551	
宿泊費	10,000		
消耗品費	30,000	53,417	
印刷費	10,000		
専門家への相談・依頼	150,000	155,520	税理士報酬・司法書士手数料
慶弔費	10,000	10,800	
租税公課	0	5,300	
給与	240,000	240,000	
広告宣伝費	0	45,000	東京乗馬倶楽部協賛広告
諸会費	60,000	68,299	HETI年会費
什器備品費	0	0	
支払手数料	5,000	11,092	
雑費	10,000	1,102	
2.事業支出			
(1)普及・啓発事業			
会報の発行	150,000	77,543	
ガイドブックの配布	2,000	5,573	
ガイドブックのリニューアル	800,000	0	不実施
リボンマグネットの配布	0	1,690	
パンフレットのリニューアル	70,000	0	不実施
RDAオリジナルグッズの作成と販売	300,000	0	不実施
HPの充実と有効活用	13,000	0	不実施
人材交流	150,000	25,597	
写真コンテスト	30,000	10,656	
ボランティア・馬表彰	20,000	0	
ユニット認定	100,000	164,388	
ユニット支援	100,000	0	
シンポジウム	50,000	0	
(2)人材育成事業			
講習会	500,000	329,236	山口①②講習会・たま③講習会・福岡④講習会
インストラクター資格試験	200,000	0	
インストラクター資格認定・更新	20,000	0	
3.予備費			
予備費	1,656,086		
当期支出合計(c)	5,111,086	1,671,329	
当期収支差額(a)-①	-1,575,086	892,052	
前期繰越金額			
次期繰越金収支差額(b)-②	0	2,467,138	

<b>貸借対照表</b>			
特定非営利活動法人 RDA Japan		[税込] (単位: 円)	
		平成28年 3月31日 現在	
資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		未払金	16,864
現金	20,386	前受金	24,000
普通預金	847,671	預り金	33,998
郵便貯金	1,673,943	流動負債計	74,862
現金・預金計	2,542,000	<b>負債の部合計</b>	<b>74,862</b>
流動資産合計	2,542,000	<b>正味財産の部</b>	
		<b>【正味財産】</b>	
		前期繰越正味財産額	1,575,086
		当期正味財産増減額	892,052
		正味財産計	2,467,138
		<b>正味財産の部合計</b>	<b>2,467,138</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>2,542,000</b>	<b>負債・正味財産の部合計</b>	<b>2,542,000</b>

<b>財 産 目 録</b>			
特定非営利活動法人 RDA Japan		[税込] (単位: 円)	
		平成28年 3月31日 現在	
《資産の部》			
<b>【流動資産】</b>			
(現金・預金)			
現金	20,386		
普通預金	847,671		
郵便貯金	1,673,943		
現金・預金計	2,542,000		
流動資産合計			2,542,000
資産の部 合計			2,542,000
《負債の部》			
<b>【流動負債】</b>			
未払金	16,864		
前受金	24,000		
預り金	33,998		
流動負債計			74,862
負債の部 合計			74,862
正味財産			2,467,138

## ■ 監査報告書

私は、特定非営利活動法人 RDA Japan 定款第 50 条に基づき、2015 年度の事業報告書、会計報告書、決算報告書の監査をした結果、いずれも適正かつ正確に執行されていたことを認めます。

2016 年 4 月 24 日

特定非営利活動法人 RDA Japan

監事 佐野 一夫

(自署)

佐野 一夫 

(第3号議案)

■ 2016年度役員

2016年度役員名簿

理 事 長	中田 順寿				
副 理 事 長	土谷 麻紀				
理 事	上田 千恵、	後藤 浩二郎、	玉井 香織、	石井 孝弘	
	月川 大樹、	富永 淳子、	中田 希衣、	正清 久美子	
監 事	佐野 一夫				
外部評価委員	滝坂 信一				
	梅田 康弘				
	富沢 健悟				
	渡部 英雄				

# 2016年度 事業計画

2016年 4月 1日 ～ 2017年 3月 31日

特定非営利活動法人 RDA Japan

## 1 基本方針（案）

2015年度は、全国にユニットも20団体と増え、充実した活動を展開した一年でした。しかしながら、普及啓発事業の中で実行に移せなかった計画もいくつかあるので、2016年度は、引き続きの計画となるガイドブックのリニューアル、パンフレットのリニューアル、オリジナルグッズの作成をまず実行できるよう尽力していききたいと思います。事業活動が活発になって来ている反面、事務局体制が不十分でもあることが、事業計画の遂行に遅れが出る原因ともなっておりますので、少数でも効率よく運営できるよう、改善に努めて参りたいとも思っております。そして寄附金及び助成金の申請等財務活動に注力し、安定した活動が継続できる体制を作っていきたいと思っております。

また、ユニット支援という点では、ユニット間のメーリングリストも定着しましたので、活発な意見交換の場をもちながら、人材交流を主体としながら、今年度はRDAJapanとして一体感を図っていける会合を開催する予定です。

人材育成事業においては、ヘルパー認定制度とアシストインストラクター認定制度を普及させ、今年度も各種講習会の開催とインストラクター資格認定を柱としながら、活動の即戦力となる人材の輩出に注力していききたいと思います。また、今年度は新たにA級インストラクターを輩出していきたいと思っております。外部の団体様も参加しやすいセミナーも開催していききたいと思います。

2016年度の主な事業は以下の通りです。

### (1) 普及啓発事業

- 会報の発行
- ガイドブックの販売
- ガイドブックのリニューアル
- リボンマグネットの販売
- パンフレットのリニューアル
- RDAJapanオリジナルグッズの作成と販売
- ホームページの充実と有効活用
- 障がい者乗馬を行いたい団体・個人等への人材交流
- 写真コンテスト
- ボランティア表彰・馬表彰
- ユニット認定
- ユニット支援
- シンポジウム（RDA広報活動）

### (2) 人材育成事業

- 各種講習会
- インストラクター資格試験
- インストラクター資格認定・更新手続き

## 2 事業の実施に関する事項

### (3) 普及・啓発事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額
会報発行	RDA Japan 活動の広い周知と理解を求めること、各地域組織の情報交換を目的として年4回発行。 今年度より発行月を従前通りと	2015年7月 10月 2016年1月 3月	事務局	2名	RDAJ 活動支援者・団体・その他 会報希望者 多数	150,000円
RDA 活動のためのガイドブックの販売	2005年8月に加筆訂正し、日本郵政公社様のご支援を頂いて制作したガイドブックを要望に応じ配布します。	通年	事務局	1名	RDAJ 会員・RDA 活動に興味のある方 多数	5,000円
ガイドブックリニューアル	2009年作成のガイドブックをマイナーチェンジし、販売をします。	通年	事務局	10名	RDAJ 会員・RDA 活動に興味のある方 多数	1,000,000円
リボンマグネットの販売	東京大崎ロータリークラブ様が2006年度にRDA Japan の為に制作して下さったリボンマグネットを要望に応じ配布します。	通年	事務局	1名	RDAJ 会員・RDA 活動に興味のある方 多数	2,000円
パンフレット	現在のパンフレットの情報が古い為、リニューアルします。」	通年	事務局	5名	RDAJ 会員・RDA 活動に興味のある方 多数	70,000円
RDAJapan オリジナルグッズの作成と販売	RDAJapan 独自のグッズを作成し、希望者には販売をし、イベントの作成と販売や競技会等協賛品として提供します。	通年	事務局	5名	RDAJ 会員・RDA 活動に興味のある方 多数	300,000円
HPの充実と有効活用	HPに加え Facebook も開設しリンクすることでRDAJ を広く周知。希望するユニットとのリンクも行う。	通年	事務局	2名	RDAJ の活動に関心がある人 多数	13,000円
障がい者乗馬を行いたい団体・個人等への人材交流	全国各地の団体・個人等を対象に障がい者乗馬活動に対する人材派遣、支援を行う事でRDA 活動の普及・啓発を行う。	通年	全国各地	15名	RDA 活動に興味がある人・活動をしてみたい人 多数	150,000円
RDA Japan 写真コンテスト	日々の活動や競技会、イベントなど記録した写真も数多くあり、また、記録の意義を超えて「馬上の笑顔の記録」として芸術的な素晴らしい写真を公募し「RDAJapan 写真コンテスト」を	2016年初冬	事務局	5名	障がい者乗馬活動に参加した方々 多数	30,000円

ボランティア・馬表彰	RDA の理念に則り活動しているユニット・準ユニットを支え、貢献してきたボランティアと馬を RDAJ が表彰。	2016 年初冬	事務局	3 名	日本国内で障がい者乗馬に関わる人・馬 多数	20,000 円
ユニット認定	新規にユニットに加入を希望する団体の活動状況を審査し、ユニット認定を行う他、認定期間 3 年を経過した団体の継続手続きを行った。	通年	全国各地	5 名	ユニット加入希望団体 多数	100,000 円
ユニット支援	ユニット登録団体も 15 団体となり、ブロックでの交流もできる状況下から、今年度はユニットの交流を図るに当たり支援していきます。	通年	全国各地		ユニット活動認定団体 多数	100,000 円
シンポジウム	JTRA・JRAD・ハーモニーセンター・RDAJ 共催の治療的乗馬研究集会の開催をはじめ RDAJ の広報活動を行う。	未定	未定	10 名	障がい者乗馬関係者及び RDA 活動に興味のある方 多数	50,000 円

(4) 人材育成事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額
講習会	今年度も各種講習会を開催していきます。	2016 年 6 月 その後の予定は未定	馬っこパーク岩手	5 名	講習会参加者とその指導を受ける人	300,000 円
インストラクター資格試験	2016 年度は④課目試験を実施します。	未定	未定	5 名	RDAJapan 認定インストラクターになりたい人 多数	200,000 円
インストラクター資格認定・更新手続き	RDAJapan 認定「RDAJ インストラクター」取得者の資格更新手続きを行います。資格認定委員会が審査を行い、再認定手続きをします。	通年	事務局	5 名	RDAJ 認定インストラクターとその指導を受ける人	20,000 円



## (第5号議案)

## ■2016年度 収支予算案

科目	予算額		備考
I 収入の部			
1.会費収入			
正会員費	600,000		
賛助会員費	20,000	620,000	
2.寄附金収入			
寄附金収入	800,000		
物品による寄附		800,000	
3.補助金収入			
民間助成金収入	500,000	1,920,000	
4.事業収入			
(1)普及・啓発事業			
会報の発行	0		
ガイドブックの配布	10,000		
ガイドブックのリニューアル	200,000		
リボンマグネットの配布	50,000		
パンフレットのリニューアル	0		
RDAJオリジナルグッズの作成と販売	100,000		
HPの充実と有効活用	0		
人材交流	0		
写真コンテスト	0		
ボランティア・馬表彰	0		
ユニット認定・更新	45,000		
シンポジウム	50,000	455,000	
(2)人材育成事業			
講習会	300,000		
インストラクター資格試験	100,000		
インストラクター資格認定・更新	30,000	430,000	
5.雑収入			
雑収入	0		
受取利息	0	0	
当期収入合計(a)	2,805,000	2,805,000	
前期繰越金収入	2,467,138	2,467,138	
収入合計(b)	5,272,138	5,272,138	
II 支出の部			
1.運営支出			
会議費	100,000		
通信費	100,000		
交通費	260,000		
宿泊費	40,000		
消耗品費	50,000		
印刷費	10,000		
専門家への相談・依頼	200,000		
慶弔費	10,000		
広告宣伝費	100,000		
租税公課	10,000		
給与	240,000		
諸会費	60,000		
什器備品費	0		
支払手数料	10,000		
雑費	5,000	1,195,000	
2.事業支出			
(1)普及・啓発事業			
会報の発行	150,000		
ガイドブックの配布	5,000		
ガイドブックリニューアル	1,000,000		
リボンマグネットの配布	2,000		
パンフレットのリニューアル	70,000		
RDAJオリジナルグッズの作成と販売	300,000		
HPの充実と有効活用	13,000		
人材交流	150,000		
写真コンテスト	30,000		
ボランティア・馬表彰	20,000		
ユニット認定	100,000		
ユニット支援	100,000		
シンポジウム	50,000	1,990,000	
(2)人材育成事業			
講習会	300,000		
インストラクター資格試験	200,000		
インストラクター資格認定・更新	20,000	520,000	
3.予備費			
予備費		0	
当期支出合計(c)	3,705,000	3,705,000	
当期収支差額(a)-(c)	-900,000	-900,000	
次期繰越金収支差額(b)-(c)	1,567,138	1,567,138	
次期繰越金	1,567,138	1,567,138	